



リコーダーアンサンブル

現在は、週一回の練習のほか、月に数回、金森五郎さんがメンバーを指導しています。金森さんは、これまでに数々のマジック大会で優勝している実力の持ち主。技術、話術ともに、八十歳という年齢を感じさせない華麗な妙技で、初心者にも分かりやすくコツを伝授しています。メンバーが行うマジックは多

種多様ですが、練習中に手順を忘れたり、何度挑戦しても失敗したりすることもしばしばです。そのような時でも、メンバー同士が経験の差に関係なく教え合おうのが、このサークルの良さで、明るく伸び伸びとした雰囲気広がっています。練習の成果は、家族や親戚の前で、結婚式や老人クラブなど

の余興で、また区民センター祭、学校、児童会館、福祉施設など、さまざまな場で披露しています。「生のマジックを初めて見て素晴らしかった」と言われた時は、本当にうれしかったです」と語る木島さん。「今後も、子供から大人まで、多くの方に喜ばれるマジックを続けていきたいです」と目を輝かせていました。そして練習に励んでいます。「PTA役員を経験してきた人が多いせいか、皆、とても積極的。サークル内の役割分担もすぐ決まるんですよ」と話す、代表の藤田雅代さん。機会があれば、子供たちを巻き込んで演奏してみたいというアイデアも浮かんでいるそうです。

「週に一度集まって、楽しく笛を吹きましょう」を合言葉に活動を続けるのは、「リコーダーあんさんぶるPierita」です。このユニークなサークル名は、東月寒中学校のPTA役員や、そのOBが集まって結成したこと由来します。現在は、東月寒地区センターを拠点に活動しており、メンバーは男性一人を除いて、すべて女性となっています。使用するリコーダーは、ソプラノ、アルト、テナー、バスなどに分かれており、メンバーの多くは、自分の子供が学校で使っていたものから始めているそうです。「以前は子供の吹くものと思っていたが、歴史の古い楽器だと知り、やってみると楽しい。」

と、メンバーは口をそろえます。指導を務める加藤牧子さんは、「リコーダーは簡単な楽器で、しかも、美しい音色を出すことができます。また、リコーダー用のすばらしい曲がたくさんあるんですよ」と、魅力を語ってくれました。最近では、子育てサロンや老人福祉施設などからの演奏依頼も多く、練習にも熱が入るそうです。また昨年は、時計台ホールで、大勢の人を前に演奏を行いました。今年も、そこで

各サークルの問い合わせ先

- インラインホッケーサークル
レッツ豊平(豊平8-11 ☎823-5256)
- マジック同好会アクティブ
豊平区民センター(平岸6-10 ☎812-7181)
- リコーダーあんさんぶるPierita
東月寒地区センター(月寒東3-18 ☎853-2011)

上記3施設と、月寒公民館(☎851-0482)、西岡福住地区センター(☎852-4687)では、さまざまなサークルが活動しています。詳しくは、各施設で配布しているサークル一覧をご覧ください。なお、豊平区ホームページにも、サークル情報を掲載しています。
アドレス <http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>